

# SHIN CLUB 165

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「Common Garden 原宿 北参道」

撮影：アック東京

## ノブレス・オブリージュ

今月は、千駄ヶ谷に建った新しいテナントビルのご紹介です。写真は最上階の賃貸住戸でメゾネットタイプの開放感あふれるスペースです。このほかに1階、地下1階が店舗、2階が事務所、3-4階も賃貸住戸となっています。その中の1室を建て主様の支援する「ふるさと東京ユネスコ協会」が事務所として使用することになっています。

建て主のK様氏は会社経営のかたわら、1974年より福島県大沼郡三島町に都会の子供たちを招待し、自然とのふれあいを体験させる「緑のふるさと学園」を有志と創設し、子供たちの田舎体験学習を始められました。1980年には、その経験を活かし、地方と都市文化の交流を目的に「ふるさと東京ユネスコ協会」として、東京都ユネスコ連絡協議会に加盟し、活動の範囲はさらに広がりました。

もともとヨーロッパで仕事をされていたK様。イギリスでは夏休みになると子供たちが親元を離れて、山や高原で自然と親しむサマーキャンプが子供たちの情操教育に効果を上げていることを知り、帰国後、日本でもぜひ実践したいと考えました。高度経済成長期の真ただ中の日本が、拝金主義、過度の学歴主義に進んでは大変なことになると感じられたのです。

一方、「ふるさと東京ユネスコ協会」の現会長、荻野三千雄氏は、過疎に悩む奥会津の山村、三島町で村おこしの企画に取り組んでいましたが、プランを持ったK様と出会い、当時の町長など行政全体の協力体制のもと、前述の「緑のふるさと学園」の創設に参加されました。当時の出会い、人々の情熱を思うと、今でも胸が熱くなると言います。

子供たちのキャンプや交流事業のほか、ヨーロッパで活躍する音楽家たちを三島町に迎えてコンサートを行うなど、地域のお寺や農家の方々も巻き込んで、都会と地方の文化交流がどんどん行われるようになりました。

八丈島の人々にもご縁ができて、東京、三島町、八丈島の3つの支部で合わせて一時は90人近い会員を数えるまでになりました（現在は八丈島、三島支部は停止）。地方の町おこしは今も日本中で大きな課題ですが、40年も前に時代を先取りし、活動を実践されてきた皆様でした。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）とは、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。12月4日、日本の「和食、日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形遺産に登録されたニュースをご存じの方もいらっしゃるでしょう。「無形遺産」や「世界遺産」などの「文化の多様性の保護」と「万人のための基礎教育」を重点目標に掲げています。

実は日本は1947年に世界に先駆けて仙台で民間ユネスコ活動が始まった国であり、現在、全国で約300のユネスコ協会等の組織があります。公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が、これらの各地ユネスコ協会等の構成機関を束ね、文部科学省や外務省、ユネスコ本部等との連携を促進しています。例えばユネスコの「世界寺小屋運動」は、世界各地の、教育機会のなかった成人や、学校に行けない子供たちに学びの場を提供し、地域発展を支える人材の育成を目的として、1990年の国際識字年をきっかけに始められました。「ふるさと東京ユネスコ協会」でも、昨年よりミャンマーの子供たちへの支援を行っています。

昔の日本では、名君と呼ばれる殿様や、志の高い商人が、恵まれない環境の人々にも目を向け、徳を施していました。イギリスでは伝統的に、貴族や資産家にそのような義務が当たり前のように存在します。

セレブリティとは、本来そういうものだと思っていました。

Common Garden 原宿 北参道 (千駄ヶ谷3丁目プロジェクト)



社会貢献につながるインキュベーションを期待  
建て主の思いが込められたテナントビル

プロジェクトは、明治通りから1本入った小さな交差点に建つテナントビルである。千駄ヶ谷という街は、数多くのマンションメーカーがひしめく住宅地であるが、実は原宿から続く地域一帯は事務所や店舗の多い商業地でもある。アパレル会社の事務所や小さな店舗が数多く存在する。OZONEでの4社のコンペを経て当事務所が設計を行うこととなり、この場所の系譜を継承し、さらに地域に今後も存在すべき建物として、コンセプトを形にした。



四方をマンションに囲まれた場所ではあるが、どの部屋も採光を十分に取り、プライバシーに配慮しながら、空気や視線の抜け感を大事にした。

建物は、地下1階-1階が店舗、2階は事務所、3-4階は1フロア2戸、5階は1戸の賃貸住宅という構成である。

前面東側の外階段は露出させることなく、ガラスで囲むことで、明るさを確保しながら、存在感を持たせている。

地下1階-1階の店舗部分は、明治通り側の北側が吹き抜け空間になっており、ガラスの開口部の内側、2階の事務所の閉じた壁の部分に、店舗の示すディスプレイを自由にデザインしてもらえればと思う。

建物には建て主の参加する「ふるさと東京ユネスコ協会」という民間ユネスコ協会の事務所が入ることが決まっている。定礎に刻まれた建て主の思いが実現するよう、この場所が新たな活動の拠点になればと願っている。

(鈴木孝紀氏 談)



定礎(中央ガラス壁の奥のすりガラス部分)には「太陽が森を育み風が地球を巡るように、教育が科学や文化を培い、人々が互いに解り合い分かち合う世界を願う。全ての子供たちに、未来へ続く希望がとどくよう願いをこめ、ここから始める」というメッセージが刻まれている



所在地：渋谷区  
構造：RC造  
規模：地上5階、地下1階  
用途：集合住宅・店舗  
設計・監理：鈴木孝紀/鈴木孝紀建築設計事務所  
施工担当：村田、貞弘  
竣工：2013年11月  
撮影：アック東京

①南西側全景②北西側全景。開かれた1階から2階に比べ3-5階は、閉じた壁。外壁はアスロック③1階南側道路正面。シンボルツリーはカツラ④5階メゾネット上階部分。製作手すりは細く、下の部分のない、繊細なデザイン⑤5階住戸のテラスとコンクリートの梁。柱。テラスの石版がコンクリートの柱の太さと同期し、厚みのある空間を生み出している⑥302号室。キッチンやバスルームは必要最小限にし、事務所利用にも便利。入口の扉にはブラインドが仕込まれて、開くことで廊下のさらに向こう側の建物南側の景色を取り込むこともできる⑦地下1階。天井高3700mm。正面の階段部が吹き抜けとなっている



## 回遊性のある空間と入れ子状の部屋

代々木上原の住宅地の一角に建つ戸建住宅である。区画の真ん中に位置し、道路から入り込んだ細い私道に接道することで正規に建物が建てられるよう、予め条件が整えられた土地であった。3mの崖に囲まれ、崖条例の適用を受けて、1階をRC造、2-3階を木造という混構造を選択することになった。工事は手運びによる手間のかかったものとなり、施工者にはご苦労があったと思う。

建て主の希望は「合理的にしたい」ということであった。この「合理的」とは、無駄なものは一切排除するというで、特に「扉を開ける」という動作は無駄だ、というお考えの建て主は、以前のお住まいでもキッチンなどの扉は全部外されたとのことであった。

さらに「家の中をぐるりと回ると身支度ができてしまう家がいい」とのことで、建物は必然的に回遊性を持った、シンプルなものになった。朝、3階の寝室を出て、2階へ下りて顔を洗い、着替えをして、1階のリビングダイニングで食事をとり、

仕事に出かける。帰宅すると、荷物を置いて、2階へ行き、手を洗い、着替えをして、その後食事をしたり、くつろいだりする。3階に収納は全くなく、2階も浴室以外は扉がない、かなりオープンな空間となっている。

1階は大きなワンルームで、たっぷり収納があり、キッチンも特に対面式にすることもなく、壁に沿って設置されている。広々とした空間の中央天井には、ハイサイドライトを取る開口部を設け、その上部には建物の中核をなす入れ子状のボックスが浮かんでいる。「ゲーム部屋」と呼ばれる4畳半の畳の部屋は、ゲームプロデューサーという仕事柄、家でも共に楽しめるご夫妻にとって、必要不可欠の空間である。

「下がパブリック、上に行くにつれてプライベート」と、生活動線もはっきりと意識されている建て主に、無駄のない暮らしをこの新しい家でも、ぜひ満喫していただきたい。

(仲條雪氏 談)



所在地：渋谷区 構造：RC造  
規模：地上3階 用途：専用住宅  
設計：仲條雪/JAMMS  
施工担当：村山  
竣工：2013.06 撮影：JAMMS（模型除く）



①建物入口より上を見上げる。外壁はジョリパット  
②接道する私道から見た建物玄関③全景写真の撮影が不可能だったので、拝借した模型。3階屋根部分を取り外して撮影④1階リビングダイニング。階段脇の収納は扉のないオープンな棚⑤1階階段側から見たシンプルなキッチン⑥中2階の「ゲーム部屋」には足があり、高くなった入口へは階段で上がって入る⑦2階洗面所⑧吹き抜けから臨む中2階のボックス。連続して開けられている窓と階段室上部のハイサイドライトで明るい室内⑨2階の開口部は腰から下に設置、周囲の建物との関係を意識し、採光にも配慮

「ふるさと東京ユネスコ協会 事務所開所式」 11月30日 Common Garden 原宿 北参道

トップページでもご紹介したように、11月30日、「ふるさと東京ユネスコ協会」の皆様が集まり、千駄ヶ谷の新しいビルの事務所での開所式、第1回のミーティングが開催されました。

1年前からミャンマーの子供たちへの支援を始められ、今年8月にも訪問してピアノなどの楽器を届けられたそうです。ミャンマーの国民は7割がビルマ族ですが、特に北部には少数民族も多く、それらの人々はまだまだ貧しい生活を余儀なくされているようです。電気などインフラの整備が行き届かないところが多く、校舎がなかったり、学習道具、教材も少なかったりと、十分な教育環境が整っていない地域が多いとの

ことです。

「ふるさと東京ユネスコ協会」では、まず子供たちに協会で作成した独自のノートや文房具を送るなどの支援を行っていきます。

今回、この建物を設計した鈴木孝紀氏も、ミャンマーの国旗の色をあしらったノートをデザインされています。また、弊社も法人会員として参加することになりました。

活動に興味のある方は、下記へお問い合わせください。

ふるさと東京ユネスコ協会（電話はおりておりません）

渋谷区千駄ヶ谷 3-1-6 Common Garden 原宿 北参道 301



①会議室で昼食を取りながら和気藹々と談笑される会員の皆様。2月には再度ミャンマーを有志が訪問される②デザインされたノートの試作品を手に、説明する鈴木孝紀氏③竣工した「Common Garden 原宿 北参道」の前で記念撮影。写真右から、弊社森村社長、2人目がK様、一人おいてその隣が荻野会長、鈴木氏

「PLAZA EST (新宿3丁目PJ)新築工事」竣工式

11月20日



スタイリッシュな外観

新宿3丁目に完成したテナントビルの竣工式が行われました。神主様により、祝詞奏上、切麻散米、玉串奉奠、撒餅などの儀式が行われ、参加者一同、無事竣工を迎えられたことを感謝申し上げます。また、建て主様より、設計の鈴木孝紀氏、弊社へ感謝状をいただきました。



建て主様記念写真

1, 2階の居酒屋はすでにオープンしております。この年末年始、ぜひご利用になられてはいかがでしょうか。

海老忠会館  
住所：新宿区新宿 3-2-7



建て主様より感謝状を授与される弊社森村社長

構造：RC造 免震構造  
規模：地上9階  
用途：店舗  
設計：鈴木孝紀  
／鈴木孝紀建築設計事務所  
完成：2013年11月

「清川ビル 新築工事」地鎮祭 11月12日



産婦人科の診療所を併設する二世帯住宅が着工します。

構造：鉄骨アスロック  
規模：地上5階  
用途：診療所付き住宅  
設計：相坂研介設計アトリエ  
完成予定：2014年8月

「(仮称) 富士見ヶ丘2丁目計画 新築工事」

地鎮祭 11月27日



3階から上が中庭を囲む吹き抜けとなる、個人住宅です。

構造：RC造  
規模：地上5階  
用途：専用住宅  
設計：ジェネラルデザイナー  
一級建築士事務所  
完成予定：2014年8月

「表参道けやきビルが『新建築 2014年1月号』に掲載予定です。



12月30日発売予定です。ぜひご覧ください。

構造：sRC造  
規模：地下2階 地上8階  
用途：物販店舗  
設計：團紀彦建築設計事務所

編集後記

・年末年始休業日は12月30日から、2014年1月5日までです。よいお年をお迎えください。

(株)辰通信 Vol.165 発行日 2013年12月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男

東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp